

秋商の3年間でどのように活かされたか

商業高校ということもあり、高校時代から簿記に触れられたことはよかったと思います。大学から簿記を始める人は借方貸方とは何かということや減価償却とは何かなど1から簿記を学ぶ必要があります。その点私は2級までの知識は得ていたもので、新たに得る知識は初学者に比べると非常に少なかったと思います。簿記2級と1級は全然違うということをよく聞きますが、1級を取得するためには2級の論点をきちんと理解しておく必要がありますし、2級や3級で学習した論点が簿記1級や会計士試験でも出題されるので決して無駄ではありません。

また、部活動で得た経験も大きかったと思います。秋商の部活動はどこも強いため、忍耐力、精神力はとても鍛えられていると思います。公認会計士試験においては、範囲が広いため、合格への道のりが果てしなく遠く感じます。そこで絶望せず、「こんな考え方があるのか」、「できなかった論点ができるようになった」と日々の学習の中で起こった小さなことを前向きにとらえられるようになったのは部活動に所属していたからだと感じています。前向きに学習できたことで、長時間の学習も苦ではありませんでしたし、モチベーションの維持もできたので、非常に役に立ちました。